



膠原病内科

7月1日

膠原病内科 開設しました



膠原病内科 部長

田口 雄一郎

日本内科学会認定内科医
日本リウマチ学会専門医
日本リウマチ学会指導医

2022年7月より膠原病内科を常勤医師2名にて開設させていただくこととなりました。

ご存知のとおり、膠原病とは、外敵（細菌、ウイルスなど）から自分を守る「免疫」というシステムに不具合を呈し敵と味方の区別ができなくなった「間違った免疫」が、自らをも攻撃してしまう病気の総称です。

標的となる臓器により症状や病名が異なり、関節リウマチ（主に関節が標的）、全身性エリテマトーデス（全身）・皮膚筋炎・多発性筋炎（筋肉・皮膚）・強皮症（皮膚）など30種類以上の病名が存在します。

いずれの疾患も、複数の臓器が同時に障害されさまざまな症状が起こる可能性があり、経過としても数日から数ヶ月で不幸な転帰を辿る疾患から、数十年にわたりQOLを著しく障害される疾患までさまざまです。

また、膠原病の症状としては、発熱（不明熱）、関節、皮膚、神経症状など全身に多岐にわたるため、速やかに全身を系統的に診察・精査し、診断に合わせた適切な治療が必要となります。当院では、総合病院ならではの最新検査装置や各専門科との連携にて、外来治療から入院治療において軽症患者様から重症患者様まで幅広く、適切な医療を提供させていただければと思いますので、お力になれます患者様がございましたら、ご紹介をたまわることができましたら幸いです。

対象疾患例

全身性エリテマトーデス
多発性筋炎・皮膚筋炎
強皮症
シェーグレン症候群
血管炎症候群
成人ステイロイド病
関節リウマチなどを
疑う関節痛など

膠原病疾患を疑う症状の例…（可能性のある疾患）

関節の腫れや痛み…（関節リウマチ・脊椎関節炎・SLEなど）

持続する発熱・倦怠感・炎症反応高値…（血管炎・SLE・成人ステイロイド病など）

レイノー症状（寒冷刺激で誘発される指先の色調変化）…（SLE・強皮症など）

持続する筋肉痛…（筋炎など）

抗核抗体・リウマチ因子など健診等での抗体異常…（各種膠原病リウマチ疾患）

高度な口渇・眼乾燥…（シェーグレン症候群など）

間質性肺炎・肺高血圧症の診断の方…（膠原病疾患が隠れていることがあります）

など

膠原病内科 外来診療担当表

	月	火	水	木	金
午前	—	小林	田口	小林	田口
午後	—	小林	田口	小林	—